



高校生がコンビニの店頭販促（POP）デザインを作成

玄界高校美術部の生徒が「食品ロス」を削減するために、コンビニの食品棚に設置する販促（POP）のデザインを制作しました。販売期限が迫った商品を積極的に選んでもらう「てまえどり」を促すために、方言を入れるなど学生の自由なアイデアをデザインに取り入れました。

この取組はセブンイレブンから販促に関する相談が市にあり、「食品ロス」に対する両者の考えが一致したことで、広告に学生の自由なアイデアを取り入れることが実現しました。

■目的

古賀市が令和2年度実施した食品ロスの調査結果からは、家庭から出る可燃ごみの25%が食品性廃棄物で、うち3割が手つかずの食品であるという結果が出ています。

このため、市では「食品ロス」削減を市民に広く呼びかけるとともに、次代を担う高校生のアイデアを引き出す場をつくり、「食品ロス」をはじめとした環境問題への学びを深めることを目的としています。

■内容

2月から玄界高校の生徒がデザインした販促（POP）を、市内一部のコンビニ（セブンイレブン市内13店舗）のおにぎり等の食品棚に掲示し、食品ロスの削減を広く呼びかけます。（掲示場所及び掲示期間は各店舗で異なります）

※今後POPの掲示に協力してもらえる協力店を募り拡大予定

■デザインが採用された高校生のコメント

POPに方言を入れたいと思い「てまえからとり～」を思いつきました。

そこからおにぎりのトリを描きました。】【玄界高校 2年2組 ^{みやほら}宮原 ^{かりん}香凛 さん】



【問い合わせ先】

古賀市役所 環境課資源循環推進係 担当：橋爪
電話：092-942-1127